第50回（令和7年度）
関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会

令和7年6月～ 8月3日･9日･23日

優　勝　豊上ジュニアーズ
準優勝　向小金ファイターズ
第三位　流 山 ホ ー ク ス
第四位　カ ー ジ ナ ル ス A



主　催　東葛地区親睦少年野球大会 運営委員会
協　賛　野 田 市・関 宿 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ
　　柏市･流山市･野田市･松戸市各少年野球連盟
後　援　マ ル エ ス 株 式 会 社　　N E R 企 画



河井運輸株式会社　カワイコーポレーション有限会社
河井倉庫株式会社 河井石油株式会社

これまでの60年　これからの60年も　地元と共に

〒270-0225　千葉県野田市平井257-2　TEL:04-7198-6973　FAX:04-7198-6974

河井グループ　検索

【東葛地区親睦少年野球夏季大会 協賛】

ライオンズクラブ国際協会
333C地区2R－2Z
関宿ライオンズクラブ
特別顧問　河 井 哲 弥

青少年の未来を応援します！

Lions Clubs International

関宿ライオンズクラブ事務局
〒270-0226　千葉県野田市東宝珠花442-1　TEL:04-7128-4884　FAX:04-7128-4984

第50回（令和7年度）関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会

目　次

新優勝旗及び優勝盃（写真）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第50回　関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会決勝大会成績表 ・・・・ 2

決勝大会概評・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

従来からの大会優勝旗及びカップ＆トロフィ（写真）・・・・・・ 6

大会スナップ写真 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会
ブロックリーグ戦　成績表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

ブロックリーグ戦　概　評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ ・・・・・・・・・・・・・・・ 26

東葛地区親睦少年野球夏季大会　歴代ベスト4 ・・・・・・・・・・ 27

東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム・・・・・・・・・・・・ 28

東葛地区親睦少年野球大会　開催要項（令和6年7月一部改正）・・・ 29

東葛地区親睦少年野球大会　役員名簿（令和6年7月改選）・・・・・ 31

第50回　東葛地区親睦少年野球夏季大会　会計報告・・・・・・・・ 32

※写真提供：NER企画及び大会役員



関宿ライオンズクラブ寄贈の新優勝旗



賞品群



第５０回
関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会
決勝大会成績表



☆決勝大会概評☆

豊上ジュニアーズが無敵の５連覇

準Ｖは向小金　流山勢の健闘が光る

第５０回（令和７年度）関宿ライオンズクラブ旗争奪・東葛地区親睦少年野球夏季大会は、令和７年６月から大会に参加した３８チームが８ブロックに分かれてリーグ戦を行ない、そのうちの首位８チームによって、令和７年８月３日と４日、２３日の三日間にわたって流山少年野球場及び流山おおたかの森スポーツフィールドＡ面に於いて決勝大会が開催された。

今年度は、初日の１回戦と二日目の２回戦（準決勝戦）は順調に開催されたが、当初予定の最終日の８月１０日が雨天で中止を余儀なくされ、さらに８月１６日と１７日はお盆休みで開催がなかったため、最終日が８月２３日（土）にずれ込んだ。

そして最終日の８月２３日は流山少年野球場と流山スポーツフィルドＡ面で、三位決定戦と決勝戦が同時に開催された。このうち流山ホークス vs カージナルスＡの三位決定戦が流山スポーツフィールドＡ面で、豊上ジュニアーズ vs 向か小金ファイターズの決勝戦は流山少年野球場行なわれた。

流山地区同士が対決した三位決定戦は流山ホークスが勝利したが、決勝戦は豊上ジュニアーズが驚異的な粘りと実力を発揮して優勝して、令和３年度から５連覇の快挙を継続している。

以下は決勝大会の概評。

初日の１回戦は４試合が行なわれ、豊上ジュニアーズ、流山ホークス、向小金ファイターズ、カージナルスＡがそれぞれ勝利して準決勝戦に進出した。この日の試合では、豊上ジュニアーズ vs セントラルパークス戦が大熱戦を展開して素晴らしかった。セントラルパークスが前半リードして終盤まで主導権を握っていたが、最終回に豊上が逆転、さらにその裏セントラルが同点に追いついてタイブレークとなった。特別回は点の取り合いとなったが、豊上が１点勝ってセントラルを振り切った。敗れたセントラルは、今大会で最強の相手に大善戦で、終盤まで勝利ムードだったが、土壇場で豊上の実力に屈したのは残念だった。

その他の３試合では、流山ホークスが野田ドンキーズに完封勝ちしたほか、向小金ファイターズとカージナルスは手堅く勝利してそれぞれベスト４に進出した。

二日目の８月９日は、豊上ホークス vs 流山ホークス、向小金ファイターズ vs カージナルスＡの準決勝戦２試合が行なわれた。初戦は豊上ジュニアーズの打線が爆発して大勝したが、次戦の向小金フィターズ vs カージナルスＡ戦は、カージナルスが３回まで毎回得点を挙げて有利の展開だった。しかし、中盤の２イニングに向小金の反撃にあい４回終了時点で４－４の同点となり、さらに時間となったことでタイブレークとなり、向小金が特別回に２点を挙げてカージナルスを振り切った。敗れたカージナルスにとっては、中盤とくに３回に投手と守備陣の乱れで向小金に反撃の機会を与えてからペースを奪われ、以降の２イニングで同点から逆転を許したのは痛恨だった。

大会最終日の８月２３日は、流山少年野球場で決勝戦、流山スポーツフィールドＡ面で三位決定戦が同時に行なわれた。まずカージナルスＡvs 流山ホークスの三位決定戦は、カージナル

スＡが初回に１点を先制して３回までは相手打線を抑えて主導権を握った。しかし、４回に流山ホークスがワンチャンスを生かして一挙に４点を奪って大逆転し、そのまま勝利して三位を確保した。

ホークスが挙げたこの回の得点は、二死走者無しから佐藤丞が安打で出塁した後、２四死球を挟んで、外村の満塁走者一掃のタイムリー安打と、次打者の敵失で挙げたものだが、それまでは３回に外村が放った１安打のみで、カージナルスの投手陣に抑えられていた。

逆にカージナルスＡは、初回に二死から幸田、青木の連続安打で鮮やかな先制点を奪って、以降３回までは投手陣が頑張って有利に試合を進めていた。４回も二死を取って走者無しと後一息まで頑張ったが，ここで安打と代わった投手が連続四球で満塁とし、外村に走者一掃のタイムリー安打を喫したのは痛恨だった。これで形勢は逆転無念の敗戦となってしまった。

流山地区同士の三位決定戦は流山ホークスの見事な逆転勝ちで終幕となったが、豊上ジュニアーズ vs 向小金ファイターズの決勝戦戦は、初回こそ点の取り合いでスタートたが、３回以降は豊上ジュニアーズの強力打線が爆発して毎回得点を重ねて、５回終了時点で８点差がついて，豊上ジュニアーズのコールド勝ちとなった。

豊上ジュニアーズが挙げた得点は、初回の２点は相手先発投手の乱調（連続３四球）とスクイズで挙げたものだが。３回は３四球で掴んだチャンスに、５番増渕の三塁打と次打者石丸のタイムリー安打で４点。４回は先頭打者須藤の四球出塁から、時田の安打と玉井の三塁打で２点。さらに５回は石丸、加藤の連続二塁打から時田の安打で２点と、打線が放った安打は全て得点に結びつける効率の良さだった。このあたりはさすが千葉県代表として高円宮賜杯全日本大会に出場して堂々ベスト８に輝いた実力を如何なく発揮した。

これに対して敗れた向小金ファイターズは、今大会ではブロックリーグ戦から好調で旋風を巻起こしたが、この試合に限っては投手陣の不調が致命傷となり相手に余裕を与えてしまった。

優勝した豊上ジュニアーズは前回は全員５年生だったが、今回も優勝候補のＮＯ，１らしく無敵の実力を発揮して余裕で優勝し、この結果今大会では５年連続優勝の快挙を達成した。

なお、優勝した豊上ジュニアーズのほかベスト４に進出したのは、向小金ファイターズ、流山ホークス、カージナルスＡの流山地区の３チームで、ともに善戦健闘した活躍ぶりは賞賛に値する。

以下は準決勝戦からの成績

▽準決勝戦　８月９日（日）　流山少年野球場　　開始ＡＭ８：２３

向小金ファイターズ	０	０	２	２	②	＝	６
カージナルスＡ	１	１	２	０	①	＝	５

審判：球審・矢島（豊上ジュニアーズ）、塁審・佐藤（流山ホークス）
土屋（豊上ジュニアーズ）、鵜飼（流山ホークス）

▽準決勝戦　８月９日（土）　流山少年野球場　開始ＡＭ１０：１４

豊上ジュニアーズ	５	０	０	６		＝	１１
流山ホークス	０	０	０	１	コールド	＝	１

審判：球審・佐野（向小金ファィターズ）　塁審・木村（カージナルスＡ）
菅谷（向小金ファイターズ）、幸田（カージナルスＡ）

▽三位決定戦　８月２３日（土）　流山少年野球場　　開始ＡＭ８：３０

カージナルスＡ	１	０	０	０	０	０	＝	１
流山ホークス	０	０	０	４	０	Ｘ	＝	４

審判：球審・西ケ迫（流山市少年野球連盟）　塁審・田中（流山市少年野球連盟）
邨井（流山市少年野球連盟）、染谷（流山市少年野球連盟）

▽決勝戦　８月２３日（土）　流山少年野球場　　開始ＡＭ８：２８

豊上ジュニアーズ	２	０	４	２	２		＝	１０
向小金ファイターズ	１	０	１	０	０	コールド	＝	２

審判：球審・柳（柏市少年野球連盟）　塁審・佐々木（柏市少年野球連盟）、
高橋（柏市少年野球連盟）、小山（柏市少年野球連盟）

試合終了後に行われた閉会式では、ベスト４に進出した４チームの団体表彰のほか、個人賞として下記の選手が表彰された。

大会受賞者

団体の部	優勝	豊上ジュニアーズ（５年連続　通算５回目）
	準優勝	向小金ファイターズ
	第三位	流山ホークス
	第四位	カージナルスＡ
個人の部	最優秀選手賞	山崎柚樹（豊上ジュニアーズ）
	優秀選手賞	土屋孝侑（豊上ジュニアーズ）
	優秀選手賞	合津時光（向小金ファイターズ）
	優秀選手賞	野崎竜誠（流山ホークス）
	優秀選手賞	幸田悠（カージナルスＡ）





従来からの大会優勝旗及びカップ&トロフィ



2025 CHAMPION



優勝　豊上ジュニアーズ



準優勝　向小金ファイターズ



第三位　流山ホークス



第四位　カージナルスA

熱戦









スナップ














千葉県流山市






Juniors


TOYOGAMI
BASEBALL TEAM
Juniors


ブロック 優勝
ブロック 優勝
ブロック 優勝
ブロック 優勝
ブロック 優勝
ブロック 優勝
ブロック 優勝




Central
Central
HAWKS
HAWKS
Dragons
Dragons
Fighters
Fighters
Eagles
Eagles



閉会式



挨拶する逆井ライオンズクラブ会長



山田大会会長

受賞スナップ





優勝

豊上ジュニアーズ




TOYOGAMI
BASEBALL TEAM


TOYOGAMI


TOYOGAMI


第50回（令和7年度）
関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦
少年野球夏季大会





準優勝

向小金ファイターズ





第三位
流山ホークス



第四位
カージナルスA



優秀選手賞に輝いた4選手

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

A ブロック

順位		セントラルパークス	前ヶ崎クラブ	伊勢原・リアノス合同	みさと団地ライオンズ	鰭ヶ崎ジュニアフインズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	セントラルパークス（松戸）		○ 5−1	○ 14−1	○ 7−2	○ 16−0	4	4	0	0	8	42	4	38
2	前ヶ崎クラブ（流山）	● 1−5		○ 14−0	○ 9−1	○ 10−0	4	3	1	0	6	34	6	28
3	伊勢原・リアノス合同（柏）	● 1−14	● 0−14		○ 3−0	○ 5−3	4	2	2	0	4	9	31	△22
4	みさと団地ライオンズ（三郷ヨ	● 2−7	● 1−9	● 0−3		○ 5−4	4	1	3	0	2	8	23	△15
5	鰭ヶ崎ジュニアフインズ（流山）	● 0-16	● 0−10	● 3−5	● 4−5		4	0	4	0	0	7	36	△29

B ブロック

順位		豊上ジュニアーズ	小金原ビクトリー	平川レッドスターズ	初石クーガーズ	GBC流山	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	豊上ジュニアーズ（柏）		○ 12−1	○ 13−4	○ 17−0	○ 7−3	4	4	0	0	8	49	8	41
2	小金原ビクトリー（松戸）	● 1−12		○ 15−3	○ 9−0	○ 6−0	4	3	1	0	6	31	15	16
3	平川レッドスターズ（市川）	● 4−13	● 3−15		○ 5−3	○ 15−7	4	2	2	0	4	27	38	△11
4	初石クーガーズ（流山）	● 0−17	● 0−9	● 3−5		○ 5−3	4	1	3	0	2	8	34	△23
5	GBC流山（流山）	● 3−7	● 0−6	● 7−15	● 3−5		4	0	4	0	0	15	33	△20

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

C ブロック

順位		流山ホークス	松葉ニューセラミックス	東深井ボーイズ	三郷ノースベアーズ	光ケ丘シャークス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	流山ホークス（流山）		○ 4−0	○ 8−1	○ 5−1	○ 11−3	4	4	0	0	8	38	5	33
2	松葉ニューセラミックス（柏）	● 0−4		○ 1−0	○ 13−4	○ 25−3	4	3	1	0	6	29	16	13
3	東深井ボーイズ（流山）	● 1−8	● 0−1		○ 4−0	○ 7−3	4	2	2	0	4	12	12	0
4	三郷ノースベアーズ（三郷）	● 1−5	● 4−13	● 0−4		○ 11−3	4	1	3	0	2	16	25	△9
5	光ケ丘シャークス（柏）	● 3−13	● 3−25	● 3−7	● 3−11		4	0	4	0	0	12	56	△44

D ブロック

順位		野田ドンキーズ	長崎FLB	加賀シャトルズ	加岸ベアーズ	三郷ヤンガーズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	野田ドンキーズ（野田）		○ 8−7	○ 2−0	○ 13−3	○ 16−1	4	4	0	0	8	39	11	28
2	長崎FLB（流山）	● 7−8		○ 12−1	○ 12−4	○ 19−4	4	3	1	0	6	50	17	33
3	加賀シャトルズ（柏）	● 0−2	● 1−12		● 4−10	○ 7−2	4	1	3	0	2	12	26	△14
4	加岸ベアーズ（流山）	● 3−13	● 4−12	○ 10−4		● 4−9	4	1	3	0	2	21	38	△17
5	三郷ヤンガーズ（三郷）	● 1−16	● 4−19	● 2−7	○ 9−4		4	1	3	0	2	16	46	△30

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

E ブロック

順位		向小金ファイターズ	南流ファイターズ	松戸KSカージナルス	野田ジャガーズ	豊四季・柏四小合同	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	向小金ファイターズ（流山）		○ 13−4	○ 4−1	○ 4−1	○ 6−1	4	4	0	0	8	27	7	20
2	南流ファイターズ（流山）	● 4−13		○ 6−5	○ 8−4	○ 14−2	4	3	1	0	6	32	24	8
3	松戸KSカージナルス（松戸）	● 1−4	● 5−6		○ 5−3	○ 11−10	4	2	2	0	4	22	23	△1
4	野田ジャガーズ（野田）	● 1−6	● 2−14	● 3−5		○ 5−2	4	1	3	0	2	13	19	△6
5	豊四季・柏四小合同（柏）	● 1−4	● 4−8	● 10−11	● 2−5		4	0	4	0	0	15	36	△21

F ブロック

順位		北柏スーパーナイン	流山シャークス	根木内ヤングスターズ	小田急ライオンズ	江戸川台フェニックス	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	北柏スーパーナイン（柏）		○ 9−3	○ 2−0	○ 6−0	○ 3−1	4	4	0	0	8	20	4	16
2	流山シャークス（流山）	● 3−9		○ 7−3	△ 7−7	○ 9−7	4	2	1	1	5	26	26	0
3	根木内ヤングスターズ（松戸）	● 0−2	● 3−7		○ 9−7	○ 2−0	4	2	2	0	4	14	16	△2
4	小田急ライオンズ（流山）	● 0−6	△ 7−7	● 7−9		○ 9−2	4	1	2	1	3	23	24	△1
5	江戸川台フェニックス（流山）	● 1−3	● 7−9	● 0−2	● 2−9		4	0	4	0	0	10	23	△13

東葛地区親睦少年野球夏季大会 ブロック戦成績表

Gブロック

順位		カージナルスA	八木南クラブ	野田ブレーブス中地	野菊野ファイターズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	カージナルスA（流山）		●2−5	○15−2	○3−2	3	2	1	0	4	20	9	11
2	八木南クラブ（流山）	○5−2		●3−10	○15−2	3	2	1	0	4	23	14	9
3	野田ブレーブス中地（野田）	●2−15	○10−3		○7−0	3	2	1	0	4	19	18	1
4	野菊野ファイターズ（松戸）	●2−3	●2−15	●0−7		3	0	3	0	0	4	25	△21

Hブロック

順位		高塚新田ラークス	カージナルスB	トライスター	流山マリーンズ	試合数	勝利	敗戦	引分け	勝ち点	総得点	総失点	得失点差
①	高塚新田ラークス（松戸）		○5−1	○7−2	○9−3	3	3	0	0	6	21	6	15
2	カージナルスB（流山）	●1−5		○5−4	○5−4	3	2	1	0	4	11	13	△2
3	トライスター（柏）	●2−7	●4−5		○4−0	3	1	2	0	2	10	12	△2
4	流山マリーンズ（流山）	●3−9	●4−5	●0−4		3	0	3	0	0	7	18	△11

★★ブロックリーグ戦概評★★

◆Ａブロック

セントラルパークスが攻守に安定した実力を発揮して４戦全勝の独走で首位となった。ちなみに、同チームが４試合で挙げた総得点４２点（１試合平均１０．５点）と、総失点４点（１試合平均１点）がそれを十分に物語っている。なお、総失点４点は、Ｆブロック首位の北柏スーパーナインと並んで、リーグ戦全体では最少記録。

２位以下は、勝ち星１つの差で順位が決定したが、このうち３勝１敗で２位となった前ヶ崎クラブも、実力は十力上位と見られたが、唯一セントララルパークス戦の敗戦が致命傷となって決勝大会進出のチャンスを逸した。

◆Ｂブロック

豊上ジュニアーズが４戦全勝で順当に首位を決めた。全勝した中で平川レッドスターズに４失点、ＧＢＣ流山に３失点はあったが，これは対戦相手の実力に合わせて出場メンバーを落したのが要因で、それでも余裕の勝利だった。

本来ならば大会ＮＯ．１の実力から判断してリーク戦の４試合では総得点は最多が当然と思われたが、上記理由で総失点は８点（１試合平均２点）の３位、総得点はDブロック長崎ＦＬＢの５０点に次ぐ４９点（１試合平均12．３点数）となった。但し、得失点差は４１点で１位となった。

２位小金原ビクトリー以下は、首位の豊上ジュニアーズとは実力的にはかなり開きがあった。このため首位争いとは関係なく、激戦を展開した結果、順位は勝ち星１つの差で決定した。

◆Ｃブロック

流山ホークスの実力が突出していて、しかもリーグ戦は早々４試合を消化して全て大勝し首位を決めた。ちなみに、同チームが４試合で挙げた総得点は３８点（１試合平均９，５点）で、総失点は５点（１試合平均１、２５点）の数値が、実力の高さを如実に物語っている。

興味は首位争いとは関係なく、日程消化が遅れた２位以下のチームの対戦で、最終的には流山ホークスには敗れたものの、その他の３試合を全勝した松葉ニューセラミックスが、東深井ボリーグ戦ーイズとの直接対決で勝って２位を決めた。敗れた東深井ボーイズは３位。

３敗していた三郷ノースベァーズは、最終戦の光が丘シャークスに勝って４位となった。

スに勝って４位となった。

◆Ｄブロック

全リーグ戦の中で最も熾烈な戦いを展開したブロック。終盤まで野田ドンキーズと長崎ＦＬＢがともに３勝０敗の同成績で首位を走っていたが、最終戦の直接対決で野田ドンキーズが接戦勝ちして首位を決めた。敗れた長崎ＦＬＢは、この一戦で３勝１敗となって決勝大会進出のチャンスを逸したが.この２チームの実力は殆ど互角と見られた。

決勝大会進出とは関係なく、３位以下のチームの順位争いは終盤まで縺れた。最終的には加賀シャトルズ、加岸ベァーズ、三郷ヤンガーズの３チームが１勝３敗の同成績で三つ巴となったため、順位は得失点差での決着となった。その結果、加賀シャトルズが３位、加岸ベァーズが４位、三郷ヤンガーズが５位となったが、この３チームの対戦は激戦で非常に活気があった。

◆Ｅブロック

首位となった向小金ファィターズの安定した戦いぶりが目立った。全４試合全勝のうち、最も失点の多かったのは南流ファイターズ戦の４点だけで、その他の３試合は全て１失点だったのは、とくにデフェンスの堅さを物語っている。ちなみに、同チームの４試合での総得点２７点（１試合平均６．８点)、総失点は７点（1試合平均１，８点）だった。

２位以下は勝ち星一つの差で順位か決定したが、首位の向小金ファイターズと比較すると、実力的にはかなりの差があった感じだ。

◆Ｆブロック

北柏スーパーナインが４戦全勝で独走、首位を決めた。同チームはとくにデフェンス力が良く、４試合での総失点４点（１試合平均１点）がそれを物語っている。

２勝１引き分け１敗の成績で２位となった流山シャークスは、中盤北柏スーパーナインに敗れて早々決勝大会進出のチャンスを失ったが、そのせいか最終戦の小田急ライオンズ戦にも引き分けて、首位とはかなり差のある成績に終わった。

２勝２敗の成績で３位となった根木内ヤングスターズと１勝１引き分け２敗で４位となった小田急ライオンズは、決勝大会進出とは関係なく、激戦を展開してそれなりに頑張った。

◆Ｇブロック

このブロックとＨブロックのみ４チーム構成。カージナルスＡと野田ブレーブス中地、八木南クラブの３チームで空前絶後の大激戦を展開して、最終的にはこの３チームが２勝１敗の同成績となって、首位争いは最後まで縺れた。

振り返れば、前半２勝０敗で有利に進めた野田ブレーブス中地が、中盤カージナルスＡに敗

れてから、流れはカージナルスに傾いた。しかし、その後カージナルスも八木南に敗れ、さらに八木南クラブも野田ブレーブス中地に敗れて、レース展開は混沌としてきた。この結果、最終的には３チームが２勝１敗の同成績、しかも三つ巴となったため、順位は得失点差による決着となった。ここでは野田ブレーブスに大差勝ちしたカージナルズＡが最も有利で首位となり、逆に野田ブレーブス中地に大差負けした八木南クラブと、引き立て役に終わった野田ブレーブス中地は涙を飲んだ。まお、この３チームの実力は互角と見られる。

◆Ｈブロック

全員５年生のカージナルスＢの健闘はあったが、高塚新田ラークスが安定した実力を発揮して、ソツなく３戦全勝を決めて首位となった。

２位カージナルスＢ以下の３チームは、それぞれ接戦を展開して星の潰しあいを演じて盛り上がったが、決勝大会進出には程遠い成績に終わり、高塚新田ラークスの引き立て役にとなって終演じた。

○　●　ブロックリーグ戦でのベスト３記録　●　○

☆総得点

①長崎ＦＬＢ　エ０点　②豊上ジュニアーズ　４９点　③セントラルパークス　４２点

☆総失点

①　セントラルパークス　４点　②流山ホークス　５点　③豊上ジュニアーズ　８点

☆得失点差

①豊上ジュニアーズ　４１点　②セントラルパークス　３８点　③流山ホークス　３３点

☆１試合で挙げた得点

①松葉ニューセラミックス　２５点　②長崎ＦＬＢ　１９点　③豊上ジュニアーズ　１７点



東葛地区親睦少年野球大会のあゆみ

昭和５１年夏に柏市、流山市、沼南町、我孫子市の各少年野球チームが相集い、夏休みの近隣地区親睦少年野球大会として、流山市の流山バード（後のカージナルス　代表・山田晃一氏）、流山シャークス（代表・松崎日丸夫氏）、柏市の川長コイズ（後のブルーファイン　代表・角谷正一氏）、沼南町の沼南ジャリーズ（代表・相葉藤市氏）などが発起人となって、我孫子市のチームにも呼びかけて１４チームで第一回大会を開催。以降、毎年８月中旬の三日間に実施してきた。グランドは当時柏市議会議員であった松崎公昭氏（元カリフ少年野球大会会長で元衆議院議員）の協力を得て柏市民球場を使用した。

その後、同球場が土曜日と日曜日の使用が困難となったことに加え、出場チームも近隣から毎年増加の一途を辿って来たため、昭和５６年から昭和ゴムが主催しているＳＧ大会と提携して、同社のグランドを大会の専用会場とし、開催期間も毎年８月中旬の日曜日と最終土曜日、日曜日の三日間に変更された。

ちなみに、当大会はそれまで発足当初より長瀬ゴム工業（健康ボール）及び読売新聞柏専売店をメインに、柏そごうほかのスポット後援があったが、昭和５９年の躍進記念大会（出場は６１チームで二分割制で開催）を機に後援団体の集約化が検討され、昭和６０年から後援を昭和ゴムに一本化された。

この間昭和５７年に鎌ヶ谷市と野田市、市川市からの出場があり、６０年には出場チームの総数が６２に達した。また、５９年の躍進記念大会には、埼玉県越谷市、茨城県取手市、東京葛飾区などからの特別参加チームもあり、近隣市町からの参加があって規模の拡大をみるとともに、大会は益々隆盛を極めた。

しかし、ここ数年は大会の時期的な問題と、出場チームの地理的条件、地域事情（同期間に大会が重複）などが原因で、近隣地区からの出場チームが減少して総数３０チーム前後から、平成２５年度以降はさらに減少の一途を辿って来た。なお、当大会は出場チーム及び同関係者の自発的協力により役員組織（運営委員会）を構成、運営しているプライベート大会で、各市町の教育委員会ほか公共団体の支援は受けてないが、日頃から少年野球に対して深い理解のある一部企業、野球サークルなどには、後援として協力を仰いでいる。

運営面については、当大会の発起人でもある山田晃一氏が中心となって、発足当初より歴代役員が一貫して実務を担当しているが、近年は各市町の少年野球連盟役員も自発的にこれを支えて、さらに体制が確立されてきた。会長は、昭和５１年から５４年までは角谷正一氏（上記及び割烹川長社長）、５５年から５７年までは鈴木　昭氏（我孫子ナマコン社長・非常勤）、５８年から６１年までは相馬義明氏（元沼南町少年野球連盟会長）がそれぞれ歴任し、６２年から山田晃一氏が就任して現在に至っている。

毎年１２月に開催している冬季大会は、平成５７年から卒業記念大会として６年生だけ（チームの編成は他チームとの混成も可）が出場する大会に改め近年定着している。

平成１０年から一時日本マクドナルド東葛地区各店の後援（後に辞退）があり、大会開催時に写真撮影などに常時協力してくれていた共同写真企画も、平成１４年から正式に後援に加わった。さらに平成１６年から朝日スポーツキッズも後援に加わり、同年から冬季大会のみ柏リトルシニア野球協会も協賛に加わって、以降冬季大会だけは頭に「柏シニア杯争奪」を呼称することとなった。

なお、昭和６０年から大会使用球で後援してくれていた昭和ゴム（ＳＧボール）が、ボールの生産を中止したため、平成１８年から新たにダイワマルエス（マルエスボール）が代わって大会の正式な使用球となった。

令和元年から夏季大会のみブロックリーグ戦形式に変更され、開催時期も７月から８月に改められた。さらに令和３年度から夏季大会のみ野田市の関宿ライオンズクラブが正式に協賛に加わったことで、大会名の頭に「関宿ライオンズクラブ旗争奪」が記されることとなった。

東葛地区親睦少年野球夏季大会　歴代ベスト4

回数	開催年度	出場チーム	優勝	準優勝	第三位	第四位
1	1976 昭和51年	14	流山シャークス（流山）	ブラックバード（我孫子）	松ヶ丘（流山）	流山バード（流山）
2	1977 昭和52年	16	沼南ジャリーズ（沼南）	流山シャークス（流山）	高柳サンダース（沼南）	南部イーグルス（沼南）
3	1978 昭和53年	36	トライスター（柏）	四小レンジャーズ（柏）	沼南ロビンス（沼南）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
4	1979 昭和54年	48	北柏スーパーナイン（柏）	沼南イーグルス（沼南）	四小レンジャーズ（柏）	加台ボンバーズ（流山）
5	1980 昭和55年	34	トライスター（柏）	増尾レッドスターズ（柏）	沼南ファイヤーズ（沼南）	北柏スーパーナイン（柏）
6	1981 昭和56年	40	トライスター（柏）	沼南ファイヤーズ（沼南）	リトルジャガーズ（我孫子）	リアノス（柏）
7	1982 昭和57年	46	沼南イーグルス（沼南）	四季野はやぶさ（流山）	リアノス（柏）	布施リトルジャイアンツ（柏）
8	1983 昭和58年	47	リトルジャガーズ（我孫子）	トライスター（柏）	豊四季イーグルス（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）
9	1984 昭和59年	61	Aブロック 布施リトルジャイアンツ（柏）	中新宿ウイングス（柏）	トライスター（柏）	千代田ファイターズ（柏）
			Bブロック 松葉ニューセラミックス（柏）	流山シャークス（流山）	カージナルス（流山）	平井ビクトリー（沼南友軍・東京）
10	1985 昭和60年	62	リトルキング（我孫子）	四小地区少年野球クラブ（柏）	大津ヶ丘ファイターズ（沼南）	柏ライナーズ（柏）
11	1986 昭和61年	46	高野台ジャガーズ（柏）	布施リトルジャイアンツ（柏）	沼南ジャリーズ（沼南）	柏ライナーズ（柏）
12	1987 昭和62年	48	トライスター（柏）	名戸ヶ谷アトミック（柏）	柏友ジャニーズ（柏）	リアノス（柏）
13	1988 昭和63年	48	柏友ジャニーズ（柏）	江戸川台アトラス（流山）	野田ヤンキース（野田）	トライスター（柏）
14	1989 平成元年	47	松葉ニューセラミックス（柏）	千代田ファイターズ（柏）	トライスター（柏）	江戸川台フェニックス（流山）
15	1990 平成2年	60	柏ヤンガーズ（柏）	千代田ファイターズ（柏）	流山ホークス（流山）	豊四季イーグルス（柏）
16	1991 平成3年	55	高野台ジャガーズ（柏）	ありんこアントス（流山）	名戸ヶ谷アトミック（柏）	柏ヤンガーズ（柏）
17	1992 平成4年	51	千代田ファイターズ（柏）	高野台ジャガーズ（柏）	松葉ニューセラミックス（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ（流山）
18	1993 平成5年	56	千代田ファイターズ（柏）	豊四季イーグルス（柏）	つくしが丘ファイブス（柏）	トライスター（柏）
19	1994 平成6年	58	名戸ヶ谷アトミック（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	ありんこアントス（流山）	リトルベアーズ（松戸）
20	1995 平成7年	50	南部少年野球クラブ（鎌ヶ谷）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	リトルベアーズ（松戸）	フェニックス（鎌ヶ谷）
21	1996 平成8年	46	小金原ビクトリー（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	牧の原ジュニアーズ（松戸）	流南ベアーズ（流山）
22	1997 平成9年	42	清水タイガース（野田）	松葉ニューセラミックス（柏）	南流ファイターズ（流山）	小金原ビクトリー（松戸）
23	1998 平成10年	42	千代田ファイターズ（柏）	流山ホークス（流山）	松葉ニューセラミックス（柏）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズA（流山）
24	1999 平成11年	42	牧の原ジュニアーズ（松戸）	西原アローズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）	泉ライオンズ（流山）
25	2000 平成12年	32	初石クーガーズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	千代田ファイターズ（柏）	リトルベアーズ（松戸）
26	2001 平成13年	38	松葉ニューセラミックス（柏）	加岸ベアーズ（流山）	前ヶ崎クラブ（流山）	牧の原ジュニアーズ（松戸）
27	2002 平成14年	33	初石クーガーズ（流山）	千代田ファイターズ（柏）	南流ファイターズ（流山）	牧の原ジュニアーズ（松戸）
28	2003 平成15年	50	千代田ファイターズ（柏）	串崎スワローズ（松戸）	東部フェニックス（野田）	清水タイガース（野田）
29	2004 平成16年	50	初石クーガーズ（流山）	加岸ベアーズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）
30	2005 平成17年	31	初石クーガーズ（流山）	南流ファイターズ（流山）	千代田ファイターズ（柏）	新栄ファイヤーズ（柏）
31	2006 平成18年	46	ヤングスターズ（松戸）	久寺家エラーズ（我孫子）	鰭ヶ崎ジュニアフィンズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）
32	2007 平成19年	35	大津ヶ丘ファイターズ（柏）	小田急ライオンズ（流山）	南流ファイターズ（流山）	串崎スワローズ（松戸）
33	2008 平成20年	34	松葉ニューセラミックス（柏）	南流ファイターズ（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	加岸ベアーズ（流山）
34	2009 平成21年	30	小金原ビクトリー（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	清水タイガース（野田）	南流ファイターズ（流山）
35	2010 平成22年	34	高野台ジャガーズ（柏）	高田ウィンスターズ（柏）	ブラックバード（我孫子）	ヤングスターズ（松戸）
36	2011 平成23年	35	加岸ベアーズ（流山）	ヤングスターズ（松戸）	新木ファイターズ（我孫子）	梅郷パワーズ（野田）
37	2012 平成24年	35	小田急ライオンズ（流山）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	江戸川台フェニックス（流山）
38	2013 平成25年	25	串崎スワローズ（松戸）	高野台ジャガーズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）	東部フェニックス（野田）
39	2014 平成26年	20	セントラルパークス（松戸）	カージナルス（流山）	高野台ジャガーズ（柏）	小金原ビクトリー（松戸）
40	2015 平成27年	21	カージナルス（流山）	流山ホークス（流山）	セントラルパークス（松戸）	高田ウィンスターズ（柏）

回数	開催年度	出場チーム	優　勝	準　優　勝	第　三　位	第　四　位
41	2016 平成28年	15	セントラルパークス (松戸)	根木内ヤングスターズ (松戸)	北柏スーパーナイン (柏)	野田ジャガーズ (野田)
42	2017 平成29年	20	セントラルパークス (松戸)	吉川ドリームス (吉川)	リトルイーグルス (我孫子)	ブラックバード (我孫子)
43	2018 平成30年	12	根木内ヤングスターズ (松戸)	カージナルス (流山)	吉川ドリームス (吉川) 南流ファイターズ (流山)	
44	2019 令和元年	33	流山ホークス (流山)	東深井ボーイズ (流山)	野菊野ファイターズ (松戸)	根木内ヤングスターズ (松戸)
45	2020 令和2年	コロナの影響で開催中止				
46	2021 令和3年	51	豊上ジュニアーズ (柏)	野菊野ファイターズ (松戸)	東深井ボーイズ (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)
47	2022 令和4年	35	豊上ジュニアーズ (柏)	松葉ニューセラミック (柏)	野菊野ファイターズ (松戸)	向小金ファイターズ (流山)
48	2023 令和5年	32	豊上ジュニアーズ (柏)	東深井ボーイズ (流山)	長崎FLB (流山)	伊勢原ジャガーズ (柏)
49	2024 令和6年	39	豊上ジュニアーズ (柏)	野菊野ファイターズ (松戸)	野田ドンキーズ (野田)	セントラルパークス (松戸)
50	2025 令和7年	38	豊上ジュニアーズ (柏)	向小金ファイターズ (流山)	流山ホークス (流山)	カージナルスA (流山)

※第43回大会は、日程の都合上3位決定戦は行わず、2チーム同成績となりました。

第50回関宿ライオンズクラブ旗争奪
東葛地区親睦少年野球夏季大会出場チーム名

★流山地区⑰

前ヶ崎クラブ
鰭ヶ崎ジュニアフインズ
初石クーガーズ
ＧＢＣ流山
流山ホークス
東深井ボーイズ
加岸ベァーズ
向小金ファイターズ
南流ファイターズ
流山シャークス
小田急ライオンズ
江戸川台フェニックス
カージナルスＡ
カージナルスＢ
八木南クラブ
流山マリーンズ
長崎ＦＬＢ

★柏地区⑧

豊上ジュニアーズ
松葉ニューセラミックス
伊勢原・リアノス合同
光ケ丘シャークス
加賀シャトルズ
豊四季・柏四小合同
北柏スーパーナイン
トライスター

★三郷地区③

みさと団地ライオンズ
三郷ノースベァーズ
三郷ヤンガーズ

★松戸地区⑥

セントラルパークス
小金原ビクトリー
松戸ＫＳカージナルス
根木内ヤングスターズ
野菊野ファイターズ
高塚新田ラークス

★野田地区③

野田ドンキーズ
野田ジャガーズ
野田ブレーブス中地

★市川地区①

平川レッドスターズ

東葛地区親睦少年野球大会開催要項（令和６年７月一部改正）

大　会　名　　夏季:関宿ライオンズクラブ旗争奪 東葛地区親睦少年野球夏季大会
冬季:柏シニア杯争奪 東葛飾地区親睦少年野球卒業記念大会

主催・主管　　東葛地区親睦少年野球大会運営委員会

後　　援　　マルエス株式会社（マルエスボール）　関宿ライオンズクラブ
柏リトルシニアリーグ協会、流山ボーイズ（全日本ボーイズリーグ加盟）
株式会社共同写真企画

開催期間　　夏季大会　令和元年度より従来のトーナメント制から参加チームを複数に分けて、６月下旬からブロックリーグ戦を行い、首位チームが７月下旬にトーナメント制で決勝大会を行う方式に改正。
冬季大会　全試合トーナメント制で１２月の第一土曜日を初日として１２月中に終了させる。

出場資格　　夏季大会は３年生以上６年生までの単独Ａチーム。冬季大会は全員６年生のみで、単独チームで出場出来ない場合は、５チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで２チームの出場も可。出場チームの名称は独自のものとしても良く、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても可。選手のほか介護員(女性２名)のベンチ入りも認められる。

試合方法　　夏季大会①参加全チームを複数（６～８）のブロックに分けて、それぞれのブロックで総当りリーグ戦を行い、首位チームのみが決勝大会に出場出来る。

②リーグ戦の成績は勝ち点の最も多いチームを上位とする。ちなみに勝ち点は勝利２点、引き分け１点、敗戦０とする。

③リーグ戦で同成績の場合の順位は、次の規定で決定する。

１．対戦勝利チームが上位。三つ巴の場合は得失点差の最も多いチームが上位で、得失点差が同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。それでも同じ場合は抽選で決定する。

２．但し、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームはたとえ得失点差で上回っても、３チームでの最下位となる。

④全試合６回制で試合時間はシートノックを除き１時間３０分。６回に達しなくても試合は時間を優先する。**リーグ戦では得点差によるコールドゲームは適用しない。但し、決勝大会はトーナメント制で行われる場合は全試合コールドゲーム（４回以降７点差、）の適用がある。**

⑤６回または規定時間に達しても同点の場合は、リーグ戦は引き分けとし、延長戦は行わない。但し、決勝大会に限っては特別ルール（一死満塁で継続打者）を適用して勝敗を決める。なお、特別ルールの延長回は２回までとし、それでも決着がつかない場合は抽選で決定する。

⑥ 令和6年より**夏季大会は投手の投球規定回数を4回まで。冬期大会は3回までとし、一試合の投球数も70球までに限定。**
いかなる場合でもそれ以上は投げられない。

順位の決定　平成２６年度よりブロックリーグ戦の順位決定は勝率制を廃止し、勝点制に改める。勝点は上記した如く勝利が２点、引き分けが１点、敗戦０点とし、最も勝ち点の多い場合を上位とする。勝点が同じ場合は対戦勝者を上位とする。

審判当番　リーグ戦については、各ブロック内で話し合って決定する。決勝大会については、原則として役員が担当するが、後援団体及び出場チームに協力を仰ぐ場合もある。

ブロック長　リーグ戦運営の総括責任者として、日程編成及び運営については「大会運営委員長」としての権限を有し、全ての責任を持つ。同時に、リーグ内の試合結果などを大会事務局まで速やかに報告することを義務付ける。

事務局：平田宗久　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５５－４０５２
小泉博康　ＴＥＬ／ＦＡＸ　０４－７１５４－８５２９

報告は出来るだけＦＡＸでお願いいたします。
試合の結果はホームページ（担当：小泉）に掲載されます。
リーグ戦の日程はブロック長と良く話し合って決めてください。近年出場チームの多くが他の大会と掛け持ちのケースが増加していますので、ブロックリーグの日程消化は出来るだけ早め(抽選会後直ちに始めても可)にお願いします。**ブロック長に一任して決定した日程を２試合以上棄権した場合は、当該チームは自動的に失格**となり、以降の試合には出場出来ず、残り試合は全て不戦敗（得点は（０－１５）となりますので、この点をブロック長は各チームに説明し徹底するようお願いします。**他大会と掛け持ちで大会の日程消化に支障を来たした場合も同様**とします。但し、特別な事情がある場合はこの限りではないが、ブロック長に事前連絡がない場合は認められない。

会　費　１チーム　５０００円（抽選会の時に納入する）

提出書類　抽選会の時に出場チームは連絡責任者（名目上の代表者は不要）と監督名を申込書に記入して提出してもらいますので、その他の記載事項も含めて事前に確認しておいてください。記載事項の氏名は必ずフルネームで記入し、ＴＥＬ、チーム名なども間違いのないようにしてください。代理抽選の場合も同様で、その折会費も必ず納入してください。

表　彰　優勝、準優勝、第三位、第四位の団体賞のみ。個人賞は原則としてないが、後援団体から申し出があったものは、この限りに非ず。

付記事項　開会式には、各チームとも必ずプラカード（規格は自由）を持参して下さい。団旗の持込も歓迎します。
近年**他大会との重複による出場チーム**が増加していますが、その場合当該チームは**大会の日程消化に支障を来たさないように、とくに努力して下さい。**
上部大会とくに県大会と重複した場合は予め調整するが、その他の大会との重複の場合は当大会への出場を優先してください。出場出来なかった場合は不戦敗とします。

東葛地区親睦少年野球大会　役員

（令和６年７月一部改選）

会長	山田晃一	流山	柏流さよなら少年野球大会会長
副会長	平田宗久	流山	千葉県少年野球連盟役員
運営委員長・会計兼務			流山少年野球連盟役員
副会長	堀江速人	野田	野田市少年野球連盟会長
事業部長	小泉博康	流山	流山市少年野球連盟役員
事業副部長	八鍬昌次	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	松本秀樹	流山	江戸川台フェニックス
運営委員	亀田成美	流山	流山ホークス
運営委員	西ケ迫勝宏	流山	流山市少年野球連盟役員
運営委員	相原次郎	野田	野田ドンキーズ
運営委員	内田欣也	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	山本拓	野田	野田市少年野球連盟役員
運営委員	池田進一	柏	柏市少年野球連盟役員
夏季大会会計兼務			
運営委員	寺田周一郎	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	柿崎稔	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	小田部英彦	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	濱田健	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	上村茂樹	柏	柏市少年野球連盟役員
運営委員	我妻和憲	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	内山淳	松戸	松戸市少年野球連盟役員
運営委員	柴田清光	松戸	松戸市少年野球連盟役員
顧問	河井哲弥	野田	関宿ライオンズクラブ特別顧問



令和７年度　関宿ライオンズ旗争奪東葛地区親睦少年野球大会会計報告

◆収入の部

大会参加費（５０００円Ｘ３８チーム）	１９０，０００円
前大会からの繰越金	
４，８０３	
合　　計	１９４，８０３円

◆支出の部

大会賞品（トロフィ、タテ）代	４１，７５８円
ボール代（決勝大会分）	１５，０００
石灰代	４，３８５
抽選会会場使用料	２，５１０
決勝大会審判手当	２０，０００
大会役員諸掛(審判・昼食代ほか)	３１，９００
大会冊子データ作成費	５０，０００
大会冊子コピー代及び送料	２０，０００
大会冊子原稿製作（含む写真代）費及び送料	６，１６６
合　　計	１８９，９６３円

◆差引残高の部　　**４，８４０円**

◆次回大会への繰越金　　４，８４０円

第５０回東葛地区親睦少年野球夏季大会でも、野田市・関宿ライオンズクラブ様より下記の協賛品の寄贈を賜りましたことをご報告致します

優勝から３位までのトロフイ、賞状及びメダル多数に個人賞合計５個

令和７年０月１１日

会計担当　　池　田　進　一

Forever Glory Days!



嬉しい顔も
悔しい顔も
君のプレーを
アルバムに、パネルに！

全日本軟式野球連盟指定・各種競技団体指定

株式会社 共同写真企画

OSAKA TOKYO NAGOYA FUKUOKA

東京支社：〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-27-7（軟式野球会館）　☎03-5474-0741

◆本　社：TEL06-6453-5981　◆中部支店：TEL052-783-0825
◆東京サッカー事業部：TEL03-5474-0741　◆九州支店：TEL092-474-8621

▶卒業記念品作成致します。

ご予算は、ご相談下さい。
（一人あたり2,500円から7,000円）

▶ビデオ撮影承ります。

思い出の試合を確かな映像で
残しませんか?
卒団記念ビデオ制作承ります。
（一人あたり3,500円から）

●NER企画のスタンス●

1,写真を見て喜んでいただける人がいる写真を撮るように心がけます。

2,一枚の写真の中で主役は一人!

3,子供たちの表情を重視します!

4,徹底したコストダウンを図り、良質な写真を安価な値段で提供します!

スポーツ少年団・イベント・その他撮影承ります。

NER企画

〒270-1121 千葉県我孫子市中峠1604-90

TEL&FAX
04-7197-0115

緊急連絡先
070-5464-4481

ボールが飛んだ。こころも弾んだ。



「カキーン!」
その瞬間、青空に飛んだ
ボールのように
ぼくらのこころも弾んでいた。
マルエスボールは、
熱いスポーツマインドに響く
感動のドラマを応援します。

MARUS

本大会使用球

MARUS BALL
マルエスボール

(公財)全日本軟式野球連盟公認球
(公財)日本ソフトボール協会検定球

マルエス株式会社 兵庫・大阪・東京・名古屋・九州